

# －沼のほとり－

## 新年のご挨拶

### 新春を迎えて

新春を迎え、皆様には新しい年の希望と抱負を、それぞれに期していることと思います。

手賀沼トラストは、発足してから13年目の春を迎えました。この間、皆様の変わらぬご支援、ご協力によりまして、「自然と共生する地域づくり」のステップを確実に前進させることができたと思っています。改めて会員はじめ関係くださった多くの皆様に深く感謝申し上げます。

発足した頃、手賀沼は日本一汚染されていましたが、利根川の導水と放流により、徐々に水質は改善されてきました。しかし、沼の生態系はいまだ再生せず、依然として水鳥(鴨など)は減り続けています。これは手賀沼流域や周辺地域の環境保全の在り方と大きく関連しています。特に水辺環境、沼を取り囲む水田、それに連なる農地や樹林地、斜面緑地の保全と保存の中味に関係しています。人と生物多様性の共生づくりを具体的に進める必要があります。

一方で、樹林地や農地の所有者にあっては、高齢化や後継者不足も進み、昔のように土を耕し、里山を管理し、活用することが難しくなっています。そこに都市化圧力や開発圧力も依然として加わっており、手賀沼の景観や原風景

は守らねば残せない状況は変わっていません。手賀沼トラストは、本年度も引き続き手賀沼周辺の優れた景観や自然環境を守り、人と自然が共生する豊かな潤いのあるまちづくりを目指し、皆様と共にいろいろな活動を楽しく熱っぽく進めて参りたいと願っています。また、今年は懸案である手賀沼トラストのNPO法人化の立ち上げに向けて、皆様のご理解と総意のもとに結論を出して頂き、力強く、新しい組織のもとに一步を踏み出す節目の年になることを心から期待しております。今年が手賀沼トラストと皆様にとって、素晴らしい年でありますよう祈念し、御挨拶と致します。

(手賀沼トラスト代表 遠藤織太郎)

○ 2011年度 定期総会のお知らせ

[連絡先 國方(04-7184-3385)、浅妻(04-7190-5975)]

日時:1月30日(日) 14:00~16:00

場所:六角堂(第3頁の地図をご参照下さい。)

- \* 駐車場は、ありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
- \* 総会終了後、懇談会を行いますので、ぜひご参加下さい。
- \* 懇親会の参加費は500円です。

## 1月～3月の活動予定

### ○ 定例会の予定[ 連絡先 原田(04-7149-6655)]

- ① 日時・場所: 1月19日(水) 8:30～12:00 根戸城址集合  
作業内容: 樹林地管理、堆肥用落ち葉収集  
準備するもの: 軍手、帽子、飲み物など
- ② 日時・場所: 2月2日(水) 8:30～12:00 根戸城址集合  
作業内容: 樹林地管理、ハス田管理  
準備するもの: 長靴、軍手、帽子、飲み物など
- ③ 日時・場所: 2月20日(日) 8:30～12:00 根戸城址集合  
作業内容: 樹林地管理、ハス田管理  
準備するもの: 長靴、軍手、帽子、飲み物など
- ④ 日時・場所: 3月2日(水) 8:30～12:00 根戸城址集合  
作業内容: 樹林地管理、田んぼ管理  
準備するもの: 長靴、軍手、帽子、飲み物など
- ⑤ 日時・場所: 3月15日(火) 8:30～12:00 根戸城址集合  
作業内容: 丸井福社会受入れ準備  
準備するもの: 軍手、帽子、飲み物など
- ⑥ 日時・場所: 3月16日(水) 8:30～15:00 根戸城址集合  
作業内容: 丸井福社会受入れ  
準備するもの: 軍手、帽子、飲み物など

## 日本蜜蜂の養蜂について

2011年2月11日、トラストサロンとして富沢さんによる「日本蜜蜂の養蜂の説明会」を行うこととなりました。会員の皆様は、是非ご参加ください。

### トラストで日本蜜蜂を育てましょう

ふつう、蜜蜂というと養蜂家が飼っている蜂を思い浮かべますが、養蜂家が飼っているのは西洋蜜蜂で、蜜を多量に採るために品種改良された家畜蜂です。いっぽう日本蜜蜂は日本に太古から自生している野生蜂です。東洋蜜蜂の亜種で、何万年もまえから日本列島を飛び回っていました。手賀沼周辺にもたくさんいます。春先に菜の花畑を観察してみてください。黒っぽい蜜蜂が花から花へ飛びまわっています。足には黄色い花粉をたっぶりつけています。これが日本蜜蜂です。トラストの蕎麦の花にもたくさん集まっていました。蜜蜂は採蜜行動をとおして植物の受粉(pollination)を助けます。西洋蜜蜂はハウスの中でイチゴの受粉などに活躍しますが、野生の日本蜜蜂は、野の花、木の花を問わず、あらゆる花から蜜を集めます。蜜蜂なしでは実をつけることのできない植物がたくさんあるのです。その結果、生態系のなかで重要な役割を果たし、豊かな自然環境の保全に大きく役立っています。日本蜜蜂は大木のうろなどに巣を作りますが、森林の減少で適当な巣を見つけるのは至難の業です。うっかり安易なところに巣を作れば、天敵スズメバチの餌食です。そこで、われわれ人間が日本蜜蜂に快適な巣を提供するのはそのみかえりに蜜蜂から家賃をいただきます。もちろん最大の家賃は豊かな自然です。根戸城址を中心とした山と水のある風景の保全、それが蜂からいただく月々の家賃です。そして、もし店子が我々の提供した家が気に入れば、一族がことのほか繁盛したら、特別家賃のハチミツをいただきます。トラスト一帯の花という花から集めたとびきり上等な百花蜜を。

### <活動の概略>

- ・ 2月から春の分蜂に備えて巣箱づくり
- ・ 3月末から巣箱の設置
- ・ 4～8月、巣箱の管理
- ・ 8月頃からスズメバチ対策
- ・ 10月頃、採蜜
- ・ 12月、防寒対策

(投稿者: 富沢)

## 六角堂の地図

### 省略

## 活動報告 その1 2010年度 餅つき大会



12月18日(土)、9:00~13:30、晴れ、  
参加人数98名(大人82名、子供16名)

今日は手賀沼トラスト年末の恒例行事の餅つきでした。この日は天気にも恵まれ暖かい一日で、手賀沼トラストの会員の皆さんだけでなく、会員のご家族、お友達も参加されて和気藹々とした餅つき大会でした。手賀沼トラストの恒例行事として10年以上やっているのので、みなさん慣れたもので、なんとなく役割分担されて、もち米の準備班、竈担当班、餅つき班、成型班、受付販売班とみなさん慣れた手つきでした。

もち米の準備班では、前日もち米を水に浸しておいたものをセイロに入れる役目でした。

竈係りの皆さんは、メンバーが固定されている確立が高く手馴れた感じで、一杯引っ掛けながらの仕事ぶりでした。投稿者は、一応餅つき班でしたが、あちこちとフラフラして、真面目なつき手ではありませんでしたが、中高年のおじさん達が、老体に鞭打ち、がんばって餅つきしていました。今年はオープン参加のお嬢さんが、元気に餅をついてくれていい感じでした。餅つきは、最初のコネのプロセスを丁寧にしないと、表面の状態がキレイにならないので、気をつけたつもりですが、12~13臼つくので、少しはいい加減の物もあったような…。

成型班の写真です。ここは女性の皆さんが中心のようで、華やかですね。最初におみやげ餅を作り、黄な粉餅、あんこ餅、からみ餅、雑煮用の餅をつくり最後に、販売用の押し餅をつくり、その間に宴会に突入し、投稿者は毎度の様にいじきたなく飲みまくり、最後まで飲んでいったような(死んだ父親ゆりの性分です)感じでした。暖かくて楽しい行事でした。  
(投稿者: 田原)

編集・発行 手賀沼トラスト事務局 〒270-1168 我孫子市根戸1349

Tel. 090-6499-0189(原田) E-mail: [teganuma-t@mail.goo.ne.jp](mailto:teganuma-t@mail.goo.ne.jp)

ホームページ [http://www.geocities.jp/teganuma\\_trust/](http://www.geocities.jp/teganuma_trust/)

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/>